

「自動車環境管理計画書制度」の見直しについて

東京都環境局
環境改善部自動車環境課
令和8年5月14日

【エコドライブの手法】

計画事項	主な内容
適正運転の実施	燃費の記録管理、燃費に関する定量的目標の設定
	エコドライブマニュアルの作成・配布
	エコドライブに関する教育・訓練の実施
	エコドライブの実施、アイドリング・ストップの徹底
	優良ドライバーの表彰
機器の導入	エコドライブ装置の装着や装置搭載車の導入
	デジタル式運行記録計、テレマティクス等の活用
	エコタイヤ（省燃費タイヤ）の導入
	アイドリング・ストップ装置搭載車の導入
	キー抜きロープの導入
	エア・ヒーター、蓄熱マット、蓄冷式クーラー、エア・ディフレクタの導入
	外部電源による冷蔵等貨物室の空調管理を可能とする装置の導入
	日常点検・整備マニュアルの作成・配布
車両の維持管理	日常点検・整備に関する教育・訓練の実施
	日々の始業時点検・定期点検の完全実施
	エアクリーナーの定期的な点検
	運転日報の作成

【自動車使用合理化の手法】

計画事項	主な内容
車両の有効利用の促進	共同輸配送の促進（配送等業務の共同化）
	輸送能力の効率的な活用（車両の大型化、輸送以外の平準化）
	帰り荷の確保（空車の削減）、時間指定配送の弾力化
	小口貨物の配送（宅配便等）における再配達削減
	積載効率が低い土曜日・日曜日の車両使用の削減
自営転換	自家用貨物自動車による輸送から営業用貨物自動車による輸送への転換
モーダルシフトの推進	鉄道輸送、運搬用自転車・二輪車、海運等の活用
公共交通機関の利用の促進	鉄道、バス等の公共交通機関の利用の促進
	自転車シェアリングの利用促進、自転車・徒歩による移動の推奨
	マイカー通勤の抑制、カーシェアリングの利用促進
	通勤用巡回バスの整備
情報化の推進	事業用自動車の自宅持ち帰りの抑制
	アプリなどの活用、配車システムの導入・拡大
	VICS（道路交通情報通信システム）搭載カーナビゲーションシステム等による渋滞回避
物流施設の高度化、物流拠点の整備等	駐車スペース、接車バース等の予約システムの活用
	物流拠点への集約による輸送の効率化 荷受け・仕分け業務の効率化のための物流拠点の整備等
環境マネジメントシステム等	ISO14001認証の取得、東京都貨物輸送評価制度の評価を取得、グリーン・エコプロジェクトへの参加

自動車使用合理化の手法をアップデート

自動車使用合理化における取組メニューについて、最新の動向や技術をもとに実効性の高い取組等を追加

見直しに当たっての視点	計画事項（分類）	取組内容
【車両の使用の効率化】 宅配便の再配達による環境 負荷の低減	車両の有効活用の促進（小口 貨物の配送（宅配便等）にお ける再配達の削減）	・ライフスタイルに合わせた配達場所（置き配、オープン型宅配ボックス、コンビニ 等での受取）指定サービスの実施
【物流の効率化】 発荷主・着荷主事業者として、 物流事業者と連携・協同した 取組み	荷待ち・荷役時間の削減	・予約システムの導入、パレットやかご台車等を活用した荷役時間の削減、パレッ ト等の資機材の規格の標準化、出荷前準備の徹底
	多頻度小口配送の改善	・納品頻度の見直し、共同配送の推進、緊急出荷や時間指定の削減（物流 事業者の配送計画への協力）
【新たな技術の活用】 運行管理、動態管理、 自動運転等システム導入	情報化の推進	・車両動態管理システム導入による、走行ルート最適化・積載率の向上、危 険運転検知による事故防止、自動日報作成による事務作業負担の軽減 ・A I 配送による配送ルート最適化
【輸送・移動手段の変化】 ラストワンマイルの電動化等	モーダルシフトの推進	・ラストワンマイル配送の電動化 （E Vバイク、小型E V、自動走行モビリティ等の活用）
【Z E Vへの転換】	車両の有効活用の促進（Z E Vの積極的な使用）	・環境性の優れたZ E V（燃料電池車、電気自動車及びプラグインハイブリッド 車）の積極的な導入及び使用 ・災害時におけるレジリエンス機能の向上 （給電機能、太陽光等からの充電、4 WDによる悪路走行性の向上等）